

平成29年度 学校自己評価システムシート (県立川口高等学校)

目指す学校像 生徒の可能性を追求し、進路を実現する力と人間力を高める学校

重点目標

- 組織的な学力向上策を整備し、生徒の進路目標を高める。
- 部活動・学校行事を通して規範意識や自己肯定感を向上させ、高い目標に挑戦する強い心を養う。
- 地域に根ざし、信頼される学校づくりを一層進める。

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※ 学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	8名
	生徒	4名
	事務局(教職員)	8名

番号	現状と課題	年度目標		年度評価(2月1日現在)				
		評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	
1	<p>【現状】 落ち着いた雰囲気の中で授業が行われている。一般入試を受験する生徒は増加しているが、学習への取組が不十分な生徒もおり、安易に推薦入試やAO入試等を選択する生徒もいる。</p> <p>【課題】 高い目標を設定し、その実現に向けて継続的に努力させるため、自らの実力を客観的に把握させ、学力向上に積極的に取り組ませる進路指導体制の充実が必要である。</p>	学習習慣の定着	<p>①英語・数学・国語を中心に、学年毎・教科毎に週末課題と確認テストを実施する。</p> <p>②全校体制で朝学習を展開し、朝学習の定着状況をテストで確認する。</p>	<p>・生徒アンケート「集中して取り組んだ」70%以上</p> <p>・月2回のペースで実施できたか</p> <p>・生徒アンケート「集中して取り組んだ」70%以上</p> <p>・確認テストを月2回実施できたか</p>	<p>・数学・英語・国語を中心に計画的に週末課題及び確認テスト等の取組を実施し、生徒アンケートにおいて、76%の生徒が「集中して取り組んだ」と回答した。</p> <p>・年間を通じて全学年で朝学習に取り組んだ。生徒アンケートにおいて、73.3%の生徒が「集中して取り組んだ」と回答した。</p>	B	<p>【課題】 家庭における学習時間の増大【改善策】 ・家庭学習の促進に向けた朝学習の活用</p>	
		生徒の意欲と学力を向上させる授業の実践	<p>①教科研究週間中心に授業参観を行い、教科毎に授業改善の研修会を行う。</p> <p>②若手教員の授業力向上を図るため、教育センターや予備校主催等の校外研修会等に参加させる。</p>	<p>・延べ100名の教員が授業参観を行ったか</p> <p>・教科会で研修会を2回以上行ったか</p> <p>・延べ20名の教員が参加したか</p>	<p>・授業公開週を6月と11月に実施し、延べ94名の教員が授業参観を行った。</p> <p>・8月に学校評価研修会を実施し、45名の教員が参加して教科毎に授業評価アンケートの結果を踏まえて改善策を検討した。</p> <p>・延べ24名の教員が校外研修会に参加した。(教育局主催 延べ11名、ベネッセ主催 延べ7名、河合塾主催 延べ4名、新宿セミナー主催 延べ2名)</p>	<p>・授業公開週を6月と11月に実施し、延べ94名の教員が授業参観を行った。</p> <p>・8月に学校評価研修会を実施し、45名の教員が参加して教科毎に授業評価アンケートの結果を踏まえて改善策を検討した。</p>	B	<p>【課題】 ・授業改善研修会等への参加者の増加【改善策】 ・動画視聴による研修会への獲得 ・研修参加者による情報伝達機会の創出</p>
		一般入試に対応した進路指導体制の整備	<p>①1、2年生の学力の状況把握のため「スタディサポート」、「進研模試」や河合塾の模試を実施する。</p> <p>②3年生を中心に、学期内や長期休業中に一般入試に向けた進路補習を実施する。</p>	<p>・年間3回の全員模試受験ができたか</p> <p>・延べ100名以上の生徒が参加したか</p> <p>・平日10講座以上の講習会が開講できたか</p> <p>・延べ100名以上の生徒が参加したか</p> <p>・夏季休業中に30講座以上開講できたか</p>	<p>・1、2年生対象の全員受験模試の実施は2回に留まった。3年生希望者対象の模試を10回実施した。</p> <p>・進学補習を平日13講座、夏季休業中38講座、冬季休業中15講座開講し、延べ200名以上の生徒が参加した。</p> <p>・10月末に3学年保護者対象の一般受験説明会を実施し、約100名の保護者が参加した。</p> <p>・12月に日本大学、東洋大学、獨協大学の関係者を招いて各大学一般受験志望者対象の学校別説明会を実施した。</p>	<p>・1、2年生対象の全員受験模試の実施は2回に留まった。3年生希望者対象の模試を10回実施した。</p>	A	<p>【課題】 自らの可能性を追求し、進路希望を実現する力のさらなる育成【改善策】 ・メールやHPを活用して進学補習参加者募集に係る広報をより効果的に実施する。 ・他講座や部活動との両立が図れるよう、補習開講時間の設定を工夫する。 ・模試前後の補習を充実させる。</p>
2	<p>【現状】 基本的な生活習慣が確立した、真面目で素直な生徒が多い。学習と部活動の両立に努めている。</p> <p>【課題】 ・基本的に良い生徒であるが、規範意識や自己肯定感が十分ではないため、何事に対してもリスクを冒してまで新たな挑戦をするほどの積極性を発揮することができない生徒が散見される。</p>	組織的な生徒指導体制の下での、行事や部活動等の課外活動の活性化により、生徒の人間力を高める。	<p>①規範意識の醸成に全校体制で取り組むため、継続的な生活指導を実施する。</p> <p>②文武両道を重んじ、部活動実績を向上させるため、生徒に部活動への取り組み姿勢の改善とスキルアップを求める。</p> <p>③部活動や学校行事を通じて人と交わる力やリーダーシップを育て、生徒達の自尊心を醸成させるため、学校行事の中で、生徒が主体的に活動する内容を増やす。</p>	<p>・昨年度と比較して遅刻者数及び整容指導対象者数が減少したか</p> <p>・部活動加入率が上昇したか</p> <p>・生徒アンケートの部活動満足度が80%以上であったか</p> <p>・生徒アンケートにおいて学校行事に積極的に参加できた生徒の割合が増えたか</p>	<p>・1日平均の遅刻者数は2.1名(前年比0.4名減)。年間目標の教室掲示、生活委員による放送や声かけ、着席チェック等の取組が定着している。</p> <p>・部活動加入率は86.0%(前年比0.7ポイント減)と高水準を維持し、生徒アンケートにおいて約80%の生徒が「積極的に参加できた」と回答している。今年もウエイトリフティング部、書道部による全国大会出場をはじめ、各部が良好な成績を残している。</p> <p>・文化祭準備において、実行委員会及び中央委員会の開催回数を増やすなど、生徒が主体的に学校行事に関わる機会を創出した。生徒アンケートにおいて「学校行事に積極的に参加できた」と回答した生徒の割合は93.1%(前年比1.9ポイント減)であった。</p>	B	<p>【課題】 行事や部活動等の課外活動のさらなる活性化【改善策】 ・各部活動の実績をより積極的に広報する。 ・生徒が学校行事により主体的に関わる機会を創出する。</p>	
		情報発信の多元化を行い、川高ファンを増やす。	<p>①完成した学校紹介DVDを活用し、進学フェアや学校説明会、予備校・塾等の説明会を行う。</p> <p>②本校保護者による情報拡散の効果を高めるため、生徒・保護者アンケートの内容を改良する。</p> <p>③PTA後援会と一層の連携強化をするため、専用のHPを作成し、動画等を初めとする多様な形態の情報提供を行う。</p>	<p>・学校説明会等の来校者数が増加したか</p> <p>・保護者からの情報拡散の効果がみられたか</p> <p>・HPの更新回数とアクセス数が増加したか</p>	<p>・学校説明会開催回数を1回増やし、来校者数は前年比50%増の延べ約2,400名に達した。</p> <p>・PTA後援会・同窓会ホームページを新規に開設し、作成した学校紹介動画等を掲載して広く公開した。さらに、教務部、各学年、各部活動にて積極的にHP記事更新を行った結果、「川高日誌」の更新回数は前年比25%増の70回、アクセス数は前年比21%増の4,571件に達した。</p>	A	<p>【課題】 新規開設サイトの効果的な運営継続【改善策】 ・動画記事更新に係る体制を充実させる。 ・広報に関する研修会を実施する。</p>	
3	<p>【現状】 地域や保護者から概ね信頼され、PTA活動や諸行事も円滑に行われている。生徒募集においても入学志願者数は安定している。</p> <p>【課題】 川口市立高校の創立に伴い、本校の生徒募集に関する情報をより一層積極的に発信する必要がある。</p>	情報発信の多元化を行い、川高ファンを増やす。	<p>①完成した学校紹介DVDを活用し、進学フェアや学校説明会、予備校・塾等の説明会を行う。</p> <p>②本校保護者による情報拡散の効果を高めるため、生徒・保護者アンケートの内容を改良する。</p> <p>③PTA後援会と一層の連携強化をするため、専用のHPを作成し、動画等を初めとする多様な形態の情報提供を行う。</p>	<p>・学校説明会等の来校者数が増加したか</p> <p>・保護者からの情報拡散の効果がみられたか</p> <p>・HPの更新回数とアクセス数が増加したか</p>	<p>・学校説明会開催回数を1回増やし、来校者数は前年比50%増の延べ約2,400名に達した。</p> <p>・PTA後援会・同窓会ホームページを新規に開設し、作成した学校紹介動画等を掲載して広く公開した。さらに、教務部、各学年、各部活動にて積極的にHP記事更新を行った結果、「川高日誌」の更新回数は前年比25%増の70回、アクセス数は前年比21%増の4,571件に達した。</p>	A	<p>【課題】 新規開設サイトの効果的な運営継続【改善策】 ・動画記事更新に係る体制を充実させる。 ・広報に関する研修会を実施する。</p>	

学校関係者評価	
実施日 平成30年2月16日	
学校関係者からの意見・要望・評価等	
・生徒アンケートの結果で、学習習慣(週末課題等)と朝学習に「集中して取り組んだ」生徒は共に70%を超えていたことから、学習意欲は高いと思われる。今後は「取り組めなかった」生徒の理由等の解析も必要である。	・校外研修に参加した先生による報告会を実施し、教員間で情報の共有化を行うと良い。
・朝学習は素晴らしい効果を生むと思われる。授業時間以外の校内での学習時間の増大は成績向上に直結する最高の取り組みである。	・授業改善に取り組んでいることが理解でき、授業力の向上が期待できる。
・教員相互の授業参観は、生徒の学力向上に繋がるものであり、有意義である。	・卒業生や上級学校の学生から体験談等を聞き取り組みを今以上に増やし、進路実現に向けてモチベーションを高めることも重要である。
・学習と部活に川高生はとても頑張っている。これらの両立ができるように、引き続き補習開講時間の設定を工夫してほしい。	・勇気をもってレベルの高い上級学校に一般受験で挑戦する生徒を増やしてほしい。
・ホームページを活用した補習参加者の募集は時代に合ったものと評価できる。	・模試の結果を分析して弱点を補強すると良い。
・部活動の充実は従来から評価されており、生徒自身もその楽しさを十分に味わっていることが窺える。川高の昔からの良さを改めて認識した。	・部活動加入率と学校行事に関わった生徒の割合は80~90%以上と、高い数字となっているが、若干前年度に比べて減少している。これらの原因についても調査し、文武両道の川高を目指してほしい。
・今回改善策として挙げられているものをぜひ実施していただきたい。	・HPアクセス数が増えていることは素晴らしいことである。
・新規作成した学校紹介DVDは周囲から高い評価を得ている。ぜひ活用してほしい。	・中高の連携をさらに推進してほしい。